

特集

サルデッキを見に行こう！



③ジェフロイクモザル

4月19日(土) のんほいパークにサルデッキオープン

木の上で生活するサルを、サルと同じ目線で見ることができるサルデッキが、オープン！

国内3例目となるこの施設へ、6種類のサルが引っ越します。

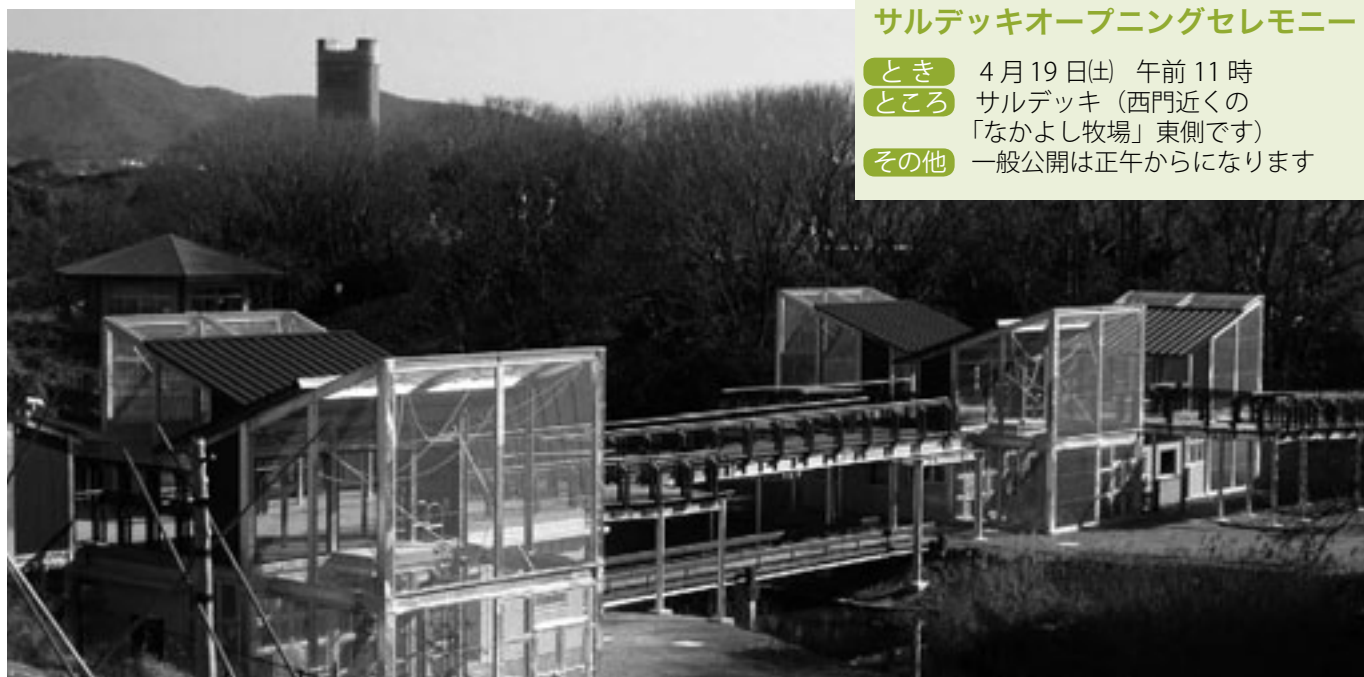
サルの生活は、どのようになるのでしょうか。

サルデッキオープニングセレモニー

とき 4月19日(土) 午前11時

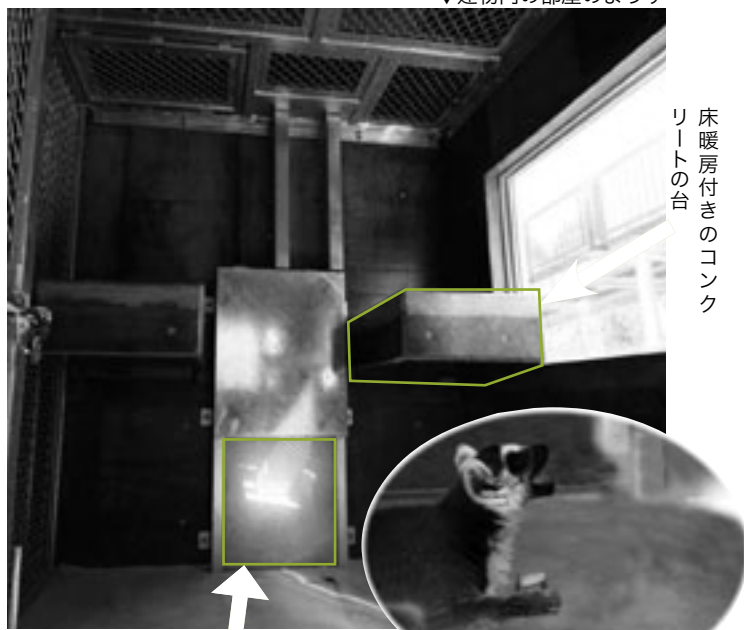
ところ サルデッキ(西門近くの「なかよし牧場」東側です)

その他 一般公開は正午からになります



▼建物内の部屋のようす

▲サルデッキ全景



床暖房付きのコンクリートの台

朝食を終えると、この扉から外に出ます

新居で、さつまいも、みかん、ニンジンなどをほおぼるようす



夜間。建物の中で寝るサル

みんなが見学できる場所は、サルが遊んだり、昼寝をしたりするための場所。実は、夜は建物の中の部屋で寝ているのです。サルデッキにいるサルは、アフリカの熱帯雨林など暖かいところに住むサルが多いので、寒さは苦手です。

建物の中は、サルが体調を崩してかぜなど病気にならないように冷暖房を完備してあります。そして、コンクリートの台の上は冷たないように床暖房が入っていて、快適な環境になっています。



開園前。食事で腹ごしらえ

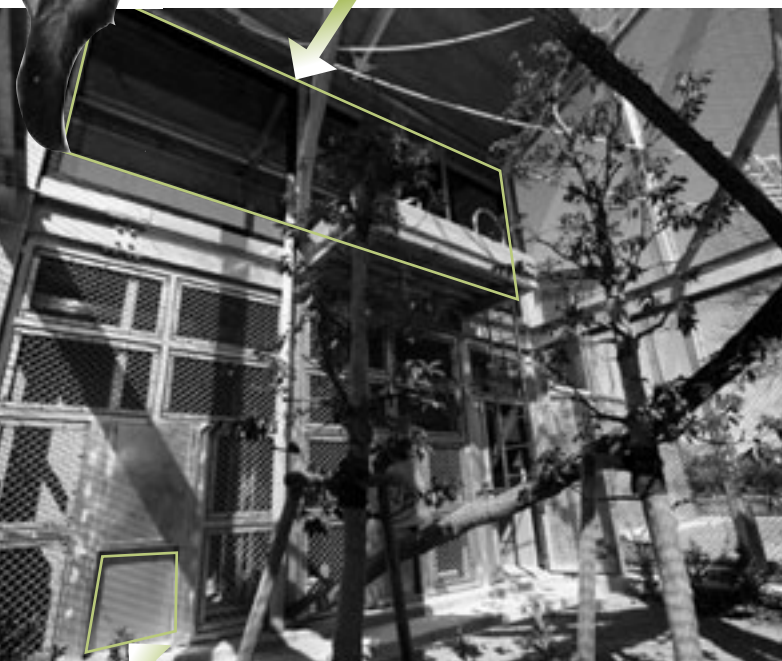
サルは、朝起きるとみんなが来る開園前に、建物の中で朝ごはんを食べます。お腹がいっぱいになってから外に出て行きます。

④ブラッサゲェノン



②フサオマキザル

高さ約3メートルのこの位置からガラス越しに見ることができます

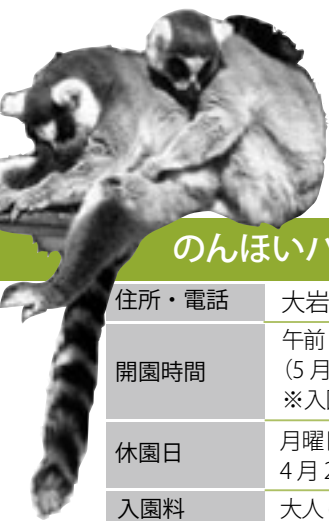


夕方、遊び疲れたサルは、この扉から建物の中に入ります

▲木や綱がある運動場

サルデッキのどこにいる？

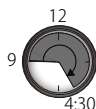
サルデッキには、川を挟み東西にそれぞれ3つの部屋があります。このページにいるサルには、名前の番号と同じ番号の部屋で会うことができます。どこにいるか探してみてください。



⑤ワオキツネザル

のんびいパークにきてね (自然史博物館共通)

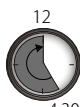
住所・電話	大岩町字大穴 1-238 ☎ 41・2185
開園時間	午前9時～午後4時30分※入園は午後4時まで (5月3日(祝)～6日(休)は午前9時～午後5時30分 ※入園は午後5時まで)
休園日	月曜日 (その日が祝日、振替休日の場合は翌平日。 4月28日(月)は開園します)、12月29日～1月1日
入園料	大人600円、小・中学生100円、未就学児は無料
お得情報 ※詳しくは、窓口などで確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ・お得な前売券や、定期入園券もあります。 ・いきいきパスポートを持っている小・中学生は土・日曜日、祝・休日に限り入園料が無料です。



昼間。運動をして疲れたら昼寝のサル生活

サルデッキの特徴は、高さ7メートルを超える高くて広い運動場があること。ここに住むサルたちは、本来木の上などで生活をするサルなので、高いところを動き回るのが、大好きです。

昼の間は、外で綱を渡るなどして遊び、疲れたら昼寝をしたり、くつろいだりしています。ハンモックの上で、遊び疲れて昼寝をしている姿を見ることができるかもしれません。



閉園。暖房の効いた部屋でおやすみ

みんなが帰るころになると、お腹をすかせたサルはそわそわ始めて、建物への扉の前をうろうろし始めます。サルは1日2食なので、遊び疲れて腹ぺこです。



サルが外にいる間に掃除をする飼育員さん

扉を開けてもらい昼の間に飼育員さんが掃除をしておいてくれた建物の中に入ると、夕食のバナナなどを食べ、床暖房の効いたベッドの上で眠ります。これが、サル生活の一日です。



①テナガザル